

令和 7 年度進行管理シート

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（１）安定給水の確保

主な取組名 ① 浄・給水場等の更新・整備

主な事業名		ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備事業【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
-						
達成指標	(ア) ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備の推進			達成状況		
【R7 年度事業計画】 令和６年３月に施設の稼働となり、計画は完了しました。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—	
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働			

主な事業名		栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
27,764						
達成指標	(イ) 栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
旧栗山浄水場（栗山給水場）については、浄水施設の撤去と併せて、老朽化が進行している配水池やポンプ設備など送配水施設の再整備を進めます。						
令和7年度は、浄水施設撤去に向けた準備工事として、送配水用の水質計器（残塩計等）の移設を行ってまいります。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	基本設計業務委託の完了	実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定	浄水施設撤去工事の着手	
実績	基本設計業務委託の完了	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注			

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備【浄水課】						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)				
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計		
1,699,474								
達成指標		(ウ) 自家発電設備の増強施設数			達成状況			
【R7 年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強(72 時間対応へ)を実施します。 令和 7 年度は、木下取水場、柏井浄水場、北船橋給水場、千葉配水場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。								
【事業の実施状況】								
【達成状況の分析及び課題】								
【今後の具体的取組】								
				R3	R4	R5	R6	R7
計画				0 施設 / 累計 (5 施設の 工事着手)	0 施設 / 累計 (6 施設の 工事着手)	3 施設 / 累計 (14 施設の 工事着手)	20 施設 / 累計	15 施設 / 累計
実績				0 施設 / 累計 (4 施設の 工事着手)	0 施設 / 累計 (2 施設の 工事着手)	2 施設 / 累計 (10 施設の 工事着手)		
※ 令和 6 年度までに 20 施設/累計の増強を計画していたが、進捗を踏まえ、令和 7 年度までに 15 施設/累計に計画を見直した。								

主な取組名 ② 管路の更新・整備

主な事業名		鋳鉄管更新工事【給水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
30,400,000							
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長				達成状況		
【R7 年度事業計画】							
近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年
実績	73.5 km/年	80.0 km/年	66.9 km/年		

主な事業名		大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）【給水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
3, 216, 933						
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。						
令和 7 年度は、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、花見川団地線、根本～岩瀬線の 5 路線において、計 9 件の工事に着手します。						
※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。						
※高級鋳鉄管：昭和 5 年から昭和 46 年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和 40 年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
400,572						
達成指標	(カ) 基幹管路の整備の推進			達成状況		
【R7 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。 令和7年度は、第4工区の実施設計業務委託の検討に必要なとなる地質調査を実施するとともに、事業に必要なとなる用地の確保に向けた業務等を行っていきます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	実施設計業務委託の完了 (第3工区)	実施設計業務委託の完了 (第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	地質調査業務委託の発注 (第4工区)	
実績	実施設計業務委託の着手 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第3工区・第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)			

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

主な取組名 ① 浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名		印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化【浄水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0		繰越予定				
達成指標	(ア) 設備耐震化工事の実施				達成状況	
【R7 年度事業計画】 水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。 令和7年度は、印旛系1号調圧水槽耐震化工事を完了します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
計画	R3	R4	R5	R6	R7	
	印旛系2号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了	
	—	船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	—	—	
実績	—	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手			
		船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了			

※ 令和6年度までに印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了を計画していたが、進捗を踏まえ、令和7年度までの完成に計画を見直した。

主な取組名 ② 管路の耐震化の推進

主な事業名		鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000（再掲）						
達成指標	（イ）湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況		
【R7 年度事業計画】 東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	
実績	28.7km /年	28.2km /年	22.3km /年			

主な事業名	鑄鉄管更新工事（再掲）【給水課】										
R7 年度予算額(千円)					R7 年度決算額等(千円)						
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計		決算額		R7→R8 繰越		計		
30,400,000（再掲）											
達成指標	（エ）小中口径管の更新延長（再掲）					達成状況					
【R7 年度事業計画】											
近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。											
【事業の実施状況】											
【達成状況の分析及び課題】											
【今後の具体的取組】											

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	80km	80km	80km	80km	80km
	/年	/年	/年	/年	/年
実績	73.5km	80.0km	66.9km		
	/年	/年	/年		

主な事業名		大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）（再掲）【給水課】											
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)									
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計							
3,216,933(再掲)													
達成指標	(オ) 大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況									
【R7 年度事業計画】 ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。 令和7年度は、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、花見川団地線、根本～岩瀬線の5路線において、計9件の工事に着手します。													
									R3	R4	R5	R6	R7
								計画	3 路線・ 計 5 件の 工事着手	5 路線・ 計 7 件の 工事着手	5 路線・ 計 8 件の 工事着手	4 路線・ 計 8 件の 工事着手	5 路線・ 計 9 件の 工事着手

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
400,572（再掲）							
達成指標	（カ）基幹管路の整備の推進（再掲）				達成状況		
【R7 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。 令和7年度は、第4工区の実施設計業務委託の検討に必要な地質調査を実施するとともに、事業に必要な用地の確保に向けた業務等を行っていきます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	実施設計業務委託の完了 （第3工区）	実施設計業務委託の完了 （第5工区）	実施設計業務委託の完了 （第8工区）	実施設計業務委託の完了 （第6工区・第7工区）	地質調査業務委託の発注 （第4工区）		
実績	実施設計業務委託の着手 （第6工区・第7工区）	実施設計業務委託の完了 （第3工区・第5工区）	実施設計業務委託の完了 （第8工区）				

主な取組名 ③ 停電・浸水対策等の強化

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
1,711,970(※)							
達成指標		(キ) 自家発電設備の増強施設数（再掲）			達成状況		
【R7 年度事業計画】 大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72 時間対応へ）を実施します。 令和 7 年度は、木下取水場、柏井浄水場、北船橋給水場、千葉配水場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。 また、R7 年度も引き続き燃料供給事業者との災害時等に備えた燃料油の備蓄及び供給に関する協定を維持し、燃料を確保します。							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画		0 施設 /累計 (5 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (6 施設の 工事着手)	3 施設 /累計 (14 施設の 工事着手)	20 施設 /累計	15 施設 /累計	
実績		0 施設 /累計 (4 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (2 施設の 工事着手)	2 施設 /累計 (10 施設の 工事着手)			
※一部再掲 浄・給水場等の非常用自家発電設備、 燃料用タンクの整備（再掲） 1,699,474（千円） 非常用自家発電設備用燃料の確保 12,496（千円）							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

主な事業名		計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
-							
達成指標	(ク) 計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数				達成状況		
【R7 年度事業計画】							
平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組みました。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	3 施設 /累計	9 施設 /累計	—	—	—
実績	3 施設 /累計	9 施設 /累計	—		

主要施策（3）危機管理体制の充実

主な取組名 ① 緊急時に備えた体制の充実

主な事業名		非常時対応訓練の実施【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
72						
達成指標	非常時対応訓練の実施 (ア) テーマ型訓練の実施 支援協力員との応急給水訓練の実施				達成状況	
【R7 年度事業計画】						
「非常時対応訓練」については、1 回目として年度当初に新体制で、初動対応を確認する訓練を行い、2 回目として下半期に、初動対応から対策本部及び現地本部の立上げ、本部会議の運営、情報収集伝達、応急給水・応急復旧の計画作成等、震災対応の一連の訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ります。						
なお、総務企画課と連携しながら、訓練内容の検討を行います。						
「テーマ型訓練」については、各所属が独自にテーマ（停電対応、応急給水等）を定めて実施します。						
「支援協力員との応急給水訓練」については、「千葉県企業局水道事業災害時支援協力員制度」に登録している支援協力員を対象として、地震発生時等に、迅速かつ効果的な活動が実施できるよう、応急給水訓練等を実施します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

主な事業名		本局新庁舎の建設【財務課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
2, 949, 339						
達成指標	(イ) 本局新庁舎（仮称）の建設			達成状況		
【R7 年度事業計画】 本局新庁舎の建設については、令和 7 年度の工事完了、令和 8 年度の供用開始に向けて、令和 4 年度末に発注した建築、電気設備、空調設備及び衛生設備の各工事の着実な進捗を図っていきます。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	基本設計 の完了 実施設計 の着手	実施設計 の完了 建設工事 の着手	建設工事 の適正な 進捗管理	建設工事 の適正な 進捗管理	新庁舎の 工事完了	
実績	基本設計 の完了 実施設計 の着手	実施設計 の完了 建設工事 の着手	建設工事 の適正な 進捗管理			

主な取組名 ② 給水区域内 1 1 市等関係機関との連携強化

主な事業名		応急給水等連絡調整会議の定期的な開催【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(ウ) 応急給水等連絡調整会議の実施			達成状況		
【R7 年度事業計画】 「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、各市との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえた対応策に基づく役割分担等を再確認します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
実績	1 回/年	1 回/年	1 回/年		

主な事業名		給水区域内各市との合同訓練の実施、給水区域内各市が開催する合同訓練への参加【計画課】							
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)					
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計			
0									
達成指標	(エ) 給水区域内各市との合同訓練の実施			達成状況					
【R7 年度事業計画】 「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、令和元年房総半島台風等の対応を教訓とし、県営水道給水区域内 11 市との連携強化を図るため、「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」での意見交換を踏まえた迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等に関する訓練を実施します。 「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、震災時に連携して迅速な応急活動が実施できるよう、給水区域内各市が開催する防災訓練に参加し、応急給水等の訓練を行います。 なお、達成指標は、「給水区域内各市との合同訓練の実施」を対象とします。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年
				実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年		

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（４）安全で安心な水づくり

主な取組名 ① 水源の監視・保全

主な事業名		水源の水質調査等の実施【浄水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
19,970						
達成指標	(ア) 水源調査回数				達成状況	
【R7 年度事業計画】 当局の水道水源である江戸川、利根川、印旛沼、高滝ダム貯水池とそれらの主な流入河川及び手賀沼の計 34 か所について毎月水質調査を実施するとともに、必要に応じて臨時調査を実施します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年	390 回 以上/年
実績	535 回/ 年	538 回/ 年	542 回/ 年		

主な事業名		関係機関と連携した監視体制の確保、 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会等への参加【浄水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	－			達成状況		
【R7 年度事業計画】 関係機関と水源水質や事故情報の情報共有により、監視体制の確保を進めます。 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会へ参加し、水源の水質保全に努めます。 【事業の実施状況】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画						
実績						

主な取組名 ② 高度浄水処理の導入

主な事業名		ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備事業(再掲)【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
—						
達成指標	(イ) ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備の推進(再掲)			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
令和６年３月に施設の稼働となり、計画は完了しました。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	—
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	—	

主な取組名 ③ 水質管理の徹底

主な事業名		水安全計画の見直し【浄水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(ウ) 水安全計画の見直しの実施				達成状況	
【R7 年度事業計画】 様々な化学物質等による水源水質の異常に対応する管理体制等を予め定めた水安全計画※について見直しを行い、発生が予測されるリスクへの対応を強化します。 ※水安全計画 水源から給水栓に至る全ての段階において、水道水質に悪影響を及ぼす恐れのある危害の原因を明確にし、危害原因を排除するため、重点的かつ継続的に監視を行うべき重要管理点（工程）をあらかじめ定め、管理することで、水の安全性を一層高いレベルで確保する水道システムの管理手法。						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	
実績	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し			
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

主な事業名		水道 G L P の認定の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0							
達成指標	(エ) 水道 G L P の認定維持				達成状況		
【R7 年度事業計画】 水道 G L P※を適正に運用し、水質検査の信頼性を確保します。 ※水道 GLP（水道水質検査優良試験所規範） 公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業体の水質検査部門及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の更新	水道 GLP の認定の維持・継続		
実績	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続				

主な事業名		水質検査計画の見直し【浄水課】							
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)					
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計			
0									
達成指標	(オ) 水質検査計画の見直しの実施				達成状況				
【R7 年度事業計画】 水質基準の改正等を踏まえた水質検査計画※の更新を行います。 ※水質検査計画 水質検査の項目・場所・頻度のほか、水源の水質状況や、浄水処理で問題となる項目や原因などを記載したもの。水道法施行規則第 15 条第 6 項において、水道事業者に策定することが義務付けられている。									
					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新
				実績	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新	水質検査 計画の 更新		
【事業の実施状況】									
【達成状況の分析及び課題】									
【今後の具体的取組】									

主な事業名		水質検査機器の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
172,819							
達成指標	(カ) 水質検査機器の更新の実施				達成状況		
【R7 年度事業計画】 経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行います。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	水質検査機器 21 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 31 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 30 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 33 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 23 台の整備 (更新・新規)
実績	水質検査機器 13 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 39 台の整備 (更新・新規)	水質検査機器 30 台の整備 (更新・新規)		

主な事業名		水質自動監視装置の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
-							
達成指標	(キ) 水質自動監視装置の更新の実施				達成状況		
【R7 年度事業計画】 R5 年度に水質自動監視装置※(38台)の更新を完了しました。							
※水質自動監視装置 日常の水質監視業務に加えて、濁り水の発生などの水質の変化を常時把握し、異常時に速やかに対応するため、給水区域の管路末端に設置している。							
【事業の実施状況】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	—	水質自動監視装置 38台の更新着手	水質自動監視装置 38台の更新完了	—	—
実績	—	水質自動監視装置 38台の更新着手	水質自動監視装置 38台の更新完了		

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄【給水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
219,524						
達成指標	(ク) 送配水管の計画洗浄延長			達成状況		
【R7 年度事業計画】 長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	
実績	1,381km /年	1,382km /年	1,378km /年			

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進【給水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,101						
達成指標	(ケ) 貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						
令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 か年の対象貯水槽約 12,000 箇所のうち、令和 7 年度は約 2,300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発	23%	42%	61%	81%	100%
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)
	直結 給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発	23%	43%	64%		
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)		
	直結 給水率	75.7%	76.2%	76.6%		

主要施策（5）おいしい水の供給

主な取組名 ① おいしい水の技術的な取組

主な事業名		残留塩素低減化試験の実施、塩素多点注入方式の導入【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
21,252							
達成指標	(ア) 残留塩素の低減化試験等の実施				達成状況		
【R7 年度事業計画】 水道水の安全性を確保しながら、水道水のおいしさを損なう原因となる残留塩素を低減するための試験を実施します。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施
実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施		

主な事業名		送・配水管の計画的な洗浄（再掲）【給水課】											
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)									
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計							
219,524(再掲)													
達成指標	(イ) 送配水管の計画洗浄延長（再掲）				達成状況								
【R7 年度事業計画】 長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】									R3	R4	R5	R6	R7
								計画	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年	1,000km /年
								実績	1,381km /年	1,382km /年	1,378km /年		

主な事業名		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進（再掲）【給水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,101（再掲）						
達成指標	（ウ）貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。						
令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 か年の対象貯水槽約 12,000 箇所のうち、令和 7 年度は約 2,300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発	23%	42%	61%	81%	100%
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)
	直結 給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発	23%	43%	64%		
	実施率	(累計)	(累計)	(累計)		
	直結 給水率	75.7%	76.2%	76.6%		

主な取組名 ② おいしい水のお客様との取組

主な事業名		水道出前講座の開催、オフィシャルサイトの更新【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
8,591							
達成指標	(エ) イベント等 P R 活動の実施				達成状況		
【R7 年度事業計画】 小学校などに出向いて、紙芝居や浄水処理実験など通じて安全でおいしい水を PR する「水道出前講座」を開催します。 水のおいしいクイズや水質検査体験募集などについて、おいしい水づくりオフィシャルサイトに掲載し、お客様に情報を発信し続けます。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施
実績	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施		

主な事業名		水質検査体験の実施、おいしい水検定の実施、おいしい水懇話会の開催【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
1, 103							
達成指標	(オ) 水質検査体験/おいしい水検定/おいしい水懇話会 実施・開催回数			達成状況			
【R7 年度事業計画】							
ご応募いただいたお客様に簡易水質検査キットを送付し、お客様ご自身でお客様宅の水道水の水質検査を実施し、測定結果や水道水のアンケートにお答えいただく「水質検査体験」を実施します。							
ご応募いただいたお客様に、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水に関する問題を解いていただくことで、水道水の理解を深めていただく「おいしい水検定」を実施します。							
安全でおいしい水づくりについて、客観的なご意見やご要望を得るため、お客様や学識経験者で構成される「おいしい水懇話会」を開催します。							
計画			R3	R4	R5	R6	R7
	水質検査体験	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	おいしい水検定	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	おいしい水懇話会	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
実績	水質検査体験	1 回/年	1 回/年	1 回/年			
	おいしい水検定	1 回/年	1 回/年	1 回/年			
	おいしい水懇話会	2 回/年	2 回/年	2 回/年			
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

《基本目標3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（6）お客様サービスの向上

主な取組名 ① 支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

主な事業名		支払方法の多様化、手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
1, 014, 805							
達成指標	(ア) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況			達成状況			
【R7 年度事業計画】							
「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムの稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進め、年度内に運用を開始します。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入		

主な取組名 ② 「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）

主な事業名		アンケート調査の実施【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
1,307							
達成指標	(イ) アンケート情報収集割合				達成状況		
【R7 年度事業計画】 給水人口 1,000 人あたりの、1 年間に実施したアンケート調査への回答人数の割合（＝情報収集割合）が所定の数値を上回ること この目標を達成するため、県営水道利用者から選出した 600 名のモニターに対してインターネット上で年 4 回のアンケート調査を行うほか、水道街頭 PR や浄水場見学会の参加者に対し、アンケート調査を実施します。また、県水だよりの読者を対象としたアンケート調査も実施し、幅広いお客様から意見を聴取できる体制を維持します。							

主な事業名		「お客様の声」の集計・分析及び各所属へのフィードバック【業務振興課】							
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)					
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計			
0									
達成指標		(ウ) 業務改善数			達成状況				
【R7 年度事業計画】 広聴相談窓口などを通じて寄せられる様々な御意見を集計・分析し、関係部門にフィードバックすることにより、「お客様の声」を事業運営に役立て、お客様満足度の向上を図っていきます。 また、お客様満足度の向上のため、「お客様の声」に限らず、職員の発案等による業務改善も併せて進めていきます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年
				実績	5 業務 /年	5 業務 /年	5 業務 /年		

主な事業名		新たな広聴手段の検討【業務振興課】							
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)					
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計			
0									
達成指標		(オ) 新たな広聴手段の検討と実施			達成状況				
【R7 年度事業計画】 お客様の視点に立った水道事業の運営のためには、お客様の御意見・要望を的確に把握することが不可欠であることから、現在の広聴相談窓口（県水お客様センターや水道事務所での電話受付、県庁HPでのメール受付等）及び各種アンケート調査に加えて、新たに導入される広聴手段を活用し、「お客様の声」の把握を行っていきます。 【事業の実施状況】 【今後の具体的取組】					R3	R4	R5	R6	R7
				計画				マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の設計	マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の実施
				実績					

主な事業名		県水だよりやホームページの内容充実、各種媒体（新聞、テレビ、ラジオ、SNS など）を用いた広報【業務振興課・総務企画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
32,730						
達成指標	(エ) 広報活動の改善状況			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
広報紙「県水だより」について、各所属の意見を取りまとめ、その時に発信すべき情報を掲載するとともに、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を使用した紙面作りなどの創意工夫を行い、内容の充実を図るとともに、令和8年度から予定している料金改定を踏まえ、効果的・効率的な広報を実施します。						
なお、千葉県営水道ホームページについては、「目的の情報にたどりにくい」等の問題の解決に向け、運用マニュアルを策定し、利用しやすいホームページにしていきます。						
県公式 SNS を活用して、当局の事業やイベント等の情報を積極的に発信するとともに、新聞、テレビ、ラジオなど各種広報媒体を効果的に組み合わせた広報活動を実施します。						
また、令和6年度における県営水道の事業概要と関係資料を取りまとめた「水道事業年報」や、環境施策の取組と成果について取りまとめた「環境報告書」などを作成し、水道事業に対するお客様のご理解とご協力を得ることを目指します。						
</						

主な事業名		災害時における適切な情報発信【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	—			達成状況		
【R7 年度事業計画】 災害が発生した場合、「企業局水道事業震災対策基本計画」等に基づき、必要に応じて、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミへの情報提供や、ホームページへの掲載等による広報活動を行うと同時に、住民からの情報提供や問い合わせ等に対し、適切な広聴活動を行います。 【事業の実施状況】 【今後の具体的取組】						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画						
実績						

主要施策（7）大規模事業体の責務と社会貢献

主な取組名 ① 県内水道の統合・広域連携

主な事業名		九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた協議、 県営水道給水地域の水道事業の在り方に関する協議【総務企画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	—			達成状況		
【R7 年度事業計画】 県（知事部局）が推進する「九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合」については、統合基本協定が締結されたところであり、令和8年4月の統合に向けて、引き続き関係機関と連携しながら、統合に向けた調整を進めます。 県（知事部局）を中心に検討している県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き当該地域の水道事業体等と連携しながら、検討を進めます。						
【事業の実施状況】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画					
実績					

主な取組名 ② 環境負荷の低減に向けた取組

主な事業名		水運用の効率化、マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用【浄水課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,823						
達成指標	(ア) 再生可能エネルギー発電設備活用による発電量			達成状況		
【R7 年度事業計画】						
配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等による水運用の効率化や、幕張給水場等に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備の安定的な運用に取り組むことで、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を目指します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	4,200 千 kWh 以上	4,200 千 kWh 以上	4,056 千 kWh 以上	4,329 千 kWh 以上	4,329 千 kWh 以上
実績	4,526 千 kWh	4,499 千 kWh	4,609 千 kWh		

主な事業名		資源リサイクルの実施【計画課・浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
527,505							
達成指標	(イ) 浄水発生土の再資源化率【浄水課】 再利用可能な建設発生土・建設副産物の再資源化率【計画課】				達成状況		
【R7 年度事業計画】 浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。 管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として再資源化していきます。 管路更新工事等において発生するアスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として、再資源化していきます。							
			R3	R4	R5	R6	R7
計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上
実績	浄水発生土	100%	100%	100%			
	建設発生土	100%	100%	100%			
	建設副産物	100%	100%	100%			
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

主な取組名 ③ 国際貢献及び他事業体への技術支援

主な事業名		開発途上国への技術支援【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0							
達成指標	(ウ) 海外水道事業体への技術支援				達成状況		
【R7 年度事業計画】 海外水道事業の研修生を対象とした研修への協力等を実施します。 具体的には、講師の派遣や、当局施設に研修生を受け入れ、見学及び実習等を行います。							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	
	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施				
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

主な事業名		水道技術研修の開放による技術支援【計画課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
147						
達成指標	(エ) 県内水道事業体へ開放する研修講座数				達成状況	
【R7 年度事業計画】 千葉県企業局が行っている水道技術研修について、引き続き 当局主催の4講座を県内の全ての水道事業体及び用水供給事業 体へ開放し、技術向上を支援します。						
【事業の実施状況】						
【達成状況の分析及び課題】						
【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年	4 講座 /年
実績	3 講座 /年	4 講座 /年	5 講座 /年		

主要施策（8）運営基盤の強化

主な取組名 ① 職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名		水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】																						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)																				
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計																		
7,510 (147 再掲)※																								
達成指標	(ア) 技術研修等講座数			達成状況																				
【R7 年度事業計画】 「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。 ※ 一部再掲 水道技術研修の開放による技術支援 147（千円） 【事業の実施状況】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>22 講座 /年</td><td>22 講座 /年</td><td>22 講座 /年</td><td>22 講座 /年</td><td>22 講座 /年</td></tr><tr><td>実績</td><td>22 講座 /年</td><td>26 講座 /年</td><td>28 講座 /年</td><td></td><td></td></tr></table> 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】								R3	R4	R5	R6	R7	計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年	22 講座 /年																			
実績	22 講座 /年	26 講座 /年	28 講座 /年																					

主な事業名		役職や担当業務に応じた効果的な研修、O J T 基本計画に基づく組織的なO J Tの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
12,316						
達成指標	(イ) 人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善			達成状況		
【R7 年度事業計画】 企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。 局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者の意見を踏まえるなど、より質の高い研修効果を目指し内容等の見直しを行っていきます。 全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。 また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。 さらに、接客サービス推進月間及びクレーム等対応実務研修では、各所属の接客サービスについて確認・改善を図るとともに、委託会社に対しても意識啓発を図ります。 局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、O J T 基本計画に基づき、O J T の有効な推進を図ります。						
		R3	R4	R5	R6	R7
計画		局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）				
実績		局独自の研修の継続（1 研修 不 開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施		
【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						

主な事業名		ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0							
達成指標	(ウ) 事業運営に必要な執行体制の確保				達成状況		
【R7 年度事業計画】 事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施（毎年度）				
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保		

主な取組名 ② ICTや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名		支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等（再掲）【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
1, 014, 805 (再掲)							
達成指標	(エ) 支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等の オンライン化の実施状況（再掲）				達成状況		
【R7 年度事業計画】							
「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムの稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進め、年度内に運用を開始します。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入		

主な事業名		I C T（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】																						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)																				
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計																		
3,757																								
達成指標	(オ) I C T（情報通信技術）等を活用した業務の実施と更なる効率化の検討			達成状況																				
【R7 年度事業計画】 令和7年度は、令和6年度までに導入したウェアラブルカメラ（※）及びローコード開発ツール（※）を引き続き活用し、業務効率化を図ります。 併せて、県（知事部局）の動向等を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。 ※ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ ※ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム（アプリ） <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>計画</td><td>検討の実施</td><td>検討の実施</td><td>機器等の試行的導入</td><td>ウェアラブルカメラの本格的導入等</td><td>その他検討の実施</td></tr><tr><td>実績</td><td>検討の実施</td><td>検討の実施・機器の実証実験等</td><td>機器等の試行的導入</td><td></td><td></td></tr></table> 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】								R3	R4	R5	R6	R7	計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	その他検討の実施	実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入		
	R3	R4	R5	R6	R7																			
計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	その他検討の実施																			
実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入																					

主な事業名		配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/D B等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】					
R7 年度予算額(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）				R7 年度決算額等(千円) ※铸铁管更新工事（再掲）			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
30, 400, 000 (再掲)							
達成指標	(カ) 配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施				達成状況		
【R7 年度事業計画】 増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法として令和4年度に試行導入した概算数量設計発注方式について、引き続き試行工事を実施します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施（毎年度）						
実績	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施				

主な取組名 ③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

主な事業名		情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
4,123,849 (※)						
達成指標	(キ) 情報システム等の整備件数			達成状況		
【R7 年度事業計画】 情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の調達及びシステム開発等を行うとともに適切な維持管理を実施します。 ・新庁舎移転に伴うネットワーク機器調達 ・新受付システムの開発 等 ※一部再掲 新受付システムの開発 766,804 (千円) 3 (6) ①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等						
	R3	R4	R5	R6	R7	
計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年	
実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年			
【事業の実施状況】						

主な事業名		情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】				
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0						
達成指標	(ク) 情報セキュリティ研修等受講者数			達成状況		
【R7 年度事業計画】 水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組みます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】						

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年	150 名 /年
実績	198 名 /年	231 名 /年	585 名 /年		

主な事業名		ネットワークの監視【業務振興課】																																
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)																														
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計																												
0																																		
達成指標	(ケ) 障害等への即日の初動対応率			達成状況																														
【R7 年度事業計画】 県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。 【事業の実施状況】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="2">計画</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td></tr><tr><td>/年</td><td>/年</td><td>/年</td><td>/年</td><td>/年</td></tr><tr><td rowspan="2">実績</td><td>100%</td><td>100%</td><td>100%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>/年</td><td>/年</td><td>/年</td><td></td><td></td></tr></table> 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】								R3	R4	R5	R6	R7	計画	100%	100%	100%	100%	100%	/年	/年	/年	/年	/年	実績	100%	100%	100%			/年	/年	/年		
	R3	R4	R5	R6	R7																													
計画	100%	100%	100%	100%	100%																													
	/年	/年	/年	/年	/年																													
実績	100%	100%	100%																															
	/年	/年	/年																															

主な取組名 ④ 健全経営の推進

主な事業名		経費の削減【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0							
達成指標	(コ) 経費の削減				達成状況		
【R7 年度事業計画】 健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。							
【事業の実施状況】							
【達成状況の分析及び課題】							
【今後の具体的取組】							

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	工事コスト・ランニングコストの削減 経常費用の圧縮（毎年度）				
実績	品質確保 に留意したコスト 削減に努めた	品質確保 に留意したコスト 削減に努めた	品質確保 に留意したコスト 削減に努めた		

主な事業名		企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
36,000,000							
達成指標	－			達成状況			
【R7 年度事業計画】							
近年の物価高騰や施設の更新・耐震化に伴う減価償却費の増などにより、中期経営計画期間中の純利益は計 193 億円となり、計画の 292 億円を下回る見込みです。							
こうした中でも、施設の更新・耐震化を着実に進めていくため、企業債については、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。							
この結果、令和 7 年度末の企業債残高は、中期経営計画における企業債残高を上回る 2,058 億円となる見込みです。							
・令和 7 年度起債見込（当初予算）360 億円							
	R3	R4	R5	R6	R7		
計画							
実績							
また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成 19 年度から平成 24 年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っています。							
○起債状況							
単位：億円							
		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込	
各年度末の 残高	収支見通し	1,491	1,592	1,717	1,804	1,916	
	実績	1,386	1,392	1,571	1,820	2,058	
	計画 R7 残高との差	530	524	345	96	▲142	
○純利益の状況							
単位：億円							
	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込	計画期間計	
収支見通し	17	81	75	63	56	292	
実績	85	39	58	9	2	193	
【事業の実施状況】							
【今後の具体的取組】							